

『2018年敷島公園まつり』

〜そだてよう!〜 公園マイスター!〜

森林整備部 技術普及課

関東森林管理局は、毎年4月29日に群馬県、前橋市などの主催により群馬県立敷島公園で行われる「敷島公園まつり」を共催しています。今年も、会場内にブースを出して「みどり」を守り・育て・活かすことの大切さを発信しました。

当日は晴天にも恵まれ、敷島公園には約1万5千人もの方々が来場しました。関東森林管理局のブースにも昨年を上回る方が訪れ、気温30度近い中、順番待ちの列が途切れることのないほど賑わいました。

林ふれあい推進センターが協力して、「山の日」(8月11日)のPRや「木のしおり作り」、「森のかけらストラップ作り」等の体験を行いました。自分で絵を描いた紙や色んな葉っぱをフィルムに挟んだ「木のしおり作り」に参加した子供達は、台紙からはみ出す程の大きなモミジを貼り付けたり、様々な形や色を使ったオリジナル作品を作っていました。好きな形の木のかげらに絵を描いたりスタンプを押したりする「森のかけらストラップ作り」では、木の肌触りや香りを「気持ちいい」



しおり作りで順番待ちの長蛇の列 (技術普及課)

い香り」と喜んでいました。子供以上に夢中になっている親御さんやおばあちゃん、出来上がった作品を手に記念撮影をするご家族の姿も見られました。また、「緑の募金推進中央キャンペーン」として、(公社)群馬県緑化推進委員会、群馬県、前橋市、



うまく出来たよ! 森のかけらのストラップ (赤谷森林ふれあい推進センター)



法被やのぼりで8月11日「山の日」をPR (技術普及課・赤谷森林ふれあい推進センター)



大賑わいの親子でしおり作り (技術普及課)



森のかけらでストラップ作り (赤谷森林ふれあい推進センター)



緑の募金協力者に苗木を配布 (局長)

(一財)群馬県森林・緑整備基金、関東森林管理局が連携して、ブルーベリー、ハナカイドウ、ローズマリー、ロウバイの苗木配布会を開催し、広く緑化の普及を図るとともに、緑の募金にご協力をいただきました。